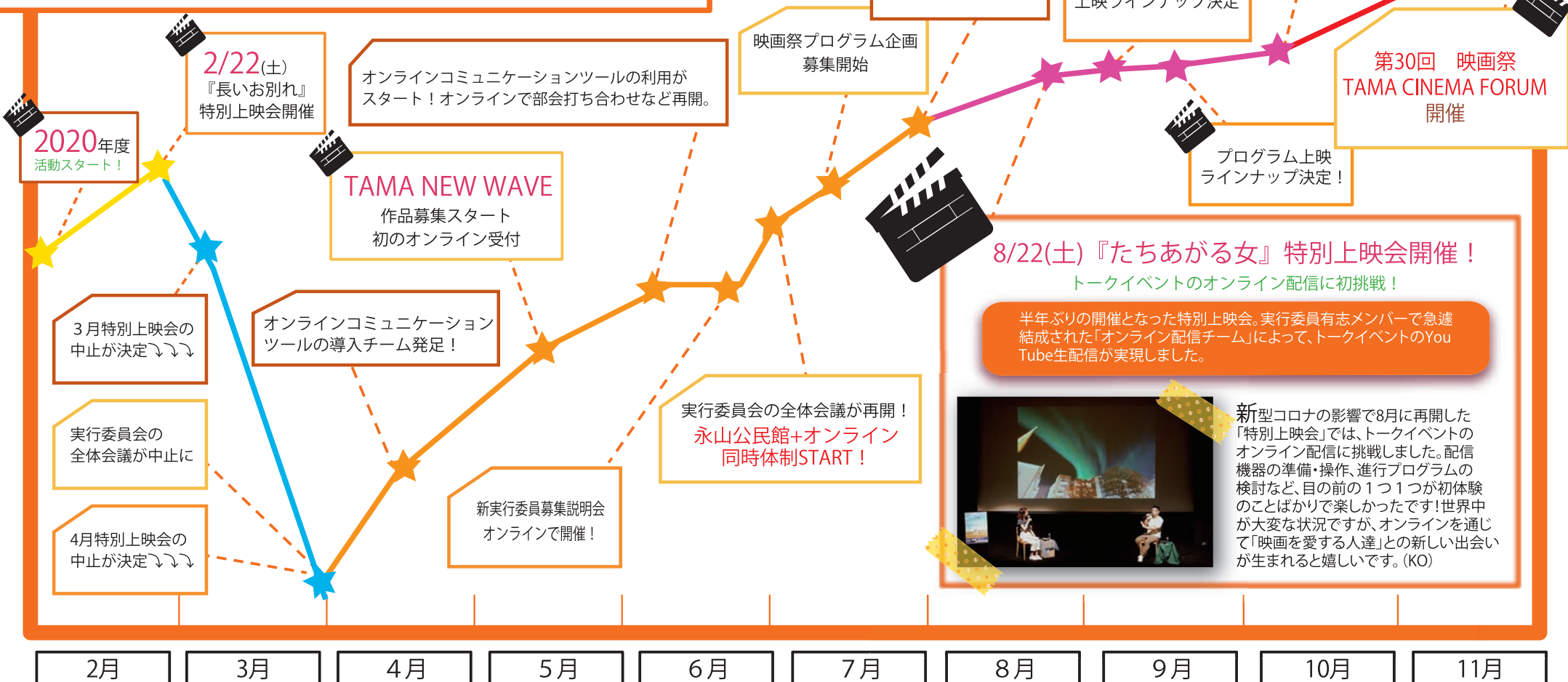


TAMA CINEMA FORUM の2020年

世界中で様々な出来事が起きた2020年。私たちTAMA映画フォーラム実行委員会も思い返せば、色々なことがありました。困難にぶつかりながらも、TCF実行委員会メンバー全員で工夫を凝らしながら開催にこぎつけた、2020年度の活動を振り返ります。



2020年度活動ふりかえり
～スタッフのここだけの話～

2月 急ピッチの感染対策で乗り切った『長いお別れ』上映会

映画祭 30周年の発射台として開催された2月特別上映会では、2019年度 TAMA 映画賞・最優秀作品賞『長いお別れ』を上映。丁度、都内での感染拡大の不安が高まっていたタイミングのなか、アルコール消毒やマスクの配布など実行委員一丸で急ピッチの準備を進め、無事に開催が実現しました。

3月 Twitterハッシュタグ企画『#元気がでる映画』

自粛ムードが進んでいくなか、「こんなときこそ映画を観て元気をだそう!」とPR部会の発案で『#元気がでる映画』の企画がスタート。実行委員から募った作品とコメントをTwitterで発信しました。以降も、『#ミニシアターと私』『#映画館・配給会社を応援しよう』など、実行委員による映画への愛とエールをSNSのなかで伝えていきました。

5月 TAMA NEW WAVE 初のオンライン作品募集

自主制作映画のコンペティション「TAMA NEW WAVE」では、初めてオンラインアップロードという形での作品募集に挑戦。今年の状況下で、例年のように応募をいただけるか心配もありましたが、最終的には100本以上もの応募作品が。実行委員による作品選考も、自粛期間中に各自Web視聴で行うことができ、オンライン作品募集のメリットを実感しました。

~10月 TAMA映画賞授賞選考も、今年は波乱万丈

実行委員が公開中の映画館に足を運び映画ファンの視点で選ぶTAMA映画賞。今年は4月以降公開延期などが重なり、映画館に行くこともできないという異例の状況下での作品選考となりました。配信サービスなども駆使しながら2020年公開作を追いかけていった映画賞部会メンバー。オンラインミーティングで議論が白熱したり、これまでにない経験のなかで思い出深い映画賞選考となりました。

2020年部会活動ふり返り

コロナ禍によって、予想外の事態がたくさん起こった2020年。部会活動においても、いつもと違う状況のなかで工夫をして乗り越えたり、逆に変化のきっかけをつかんだ出来事もありました。そんな2020年の部会活動エピソードをご紹介します！

資金作り部会

前半は特別上映会の中止が相次ぎ、支援会員の皆様をお迎えする機会が減ってしまいましたが、8月に約半年ぶりの再開。夏以降は徐々に映画祭の開催に向けて協賛・協力、パートナー各社・団体の皆様とお会いする機会が増え、たくさんの温かいお言葉を頂戴しました。このつながりを大切に、ともに魅力ある文化イベントを創り上げていきたいと思ひます。(渉)

映画賞部会

年初、日本映画が豊作だねと話していたのが、3月下旬から6月上旬まで新作公開がピタリと止まり、今年度の映画賞選考が崖淵に追い込まれました。そのなかでオンラインの公開・試写で補うことや情報共有を高めることで開催へと漕ぎ着けました。選考や受賞理由の策定もオンライン会議によって例年以上に盛り上がりしました。(JJ)

シネマ隊・新人募集

今年は会場での実行委員募集説明会が2度中止になったので、6月にオンラインで説明会を開催しました。初の試みでしたが、そこで実行委員への参加表明してくれた方もおり、無事成功に終わりました。シネマ隊募集も感染予防しながら行われ、今年も新たに加わった心強いメンバーとともに映画祭を盛り上げていきます。(夏)

NEW WAVE部会

私達は、今年からオンラインでの作品応募へ変更。その後の審査や入選作品の上映にもオンライン配信を活用し始めました。利便性が高まって快適！ですが、その一方で別の課題も色々出てきたので、来年以降さらに改善していければと思います。何はともあれ、今年も沢山の応募があり嬉しかったです。ありがとうございました！(バ)

PR部会

毎年上半期は特別上映会にフォーカスしてPRをしていたのが軒並み中止。緊急事態宣言期間はそれでもできることはないかと考え、「元気になる映画」をSNSで発信したり、SAVE THE CINEMAの情報を積極的に拡散したりしましたが、8月は久しぶりに特別上映会のリリースも出せたので、映画祭に向けてどんどん動いていきます！(お)

特別上映会チーム

2月の『長いお別れ』は前年の映画賞作品で、たくさんのお客様にご来場いただきました。その後4回は中止となりましたが、8月は久しぶりに特別上映会『たちあがる女』の上映会を開催。座席数制限などの懸念点があったものの予想以上の集客となり、地元のみなさんからのTCFの活動への期待を実感しました。(理)

会報部会

今年から会報は季刊発行になりました。新たなスタートとほぼ同時にこれまで発行の機会に大きく影響していた特別上映会の開催が一時コロナ禍でかなわなくなり、リモートでのミーティングや新しい切り口での企画にも取り組みました。最新号からは新メンバーも加わって、ますますTCFの活動を楽しくお伝えしていきます！(な)

TCFからのお知らせ

支援会員さまを募集しています！

当映画祭を資金面でサポートいただける支援会員さまを募集しています。支援会員さま限定の特典をさまざまご用意しております。詳細はホームページにて。

<https://www.tamaeiga.org/support/>

【支援金寄付 個人会員】一口1,000円から
郵便振替番号 00160-5-541123
加入者名 TAMA映画フォーラム実行委員会

TCFの最新情報やお問い合わせはこちらから

WEB www.tamaeiga.org (TAMA映画フォーラム実行委員会ホームページ)

SNS [@tamaeiga](https://twitter.com/tamaeiga) (TAMA映画フォーラム【公式】)

www.facebook.com/tamaeiga

[tama_cinema_forum](https://www.instagram.com/tama_cinema_forum)

[tamaeiga](https://www.tiktok.com/@tamaeiga)



たまシネマ通信 2020年秋号(2020/11/21 発行)

※無断転載を禁じます

発行元：TAMA映画フォーラム実行委員会 〒206-0025 多摩市永山1-5 ベルブ永山 (永山公民館内)

編集長：野瀬 / 編集：野瀬、永瀬、薄葉、是永、平山 / 表紙イラストレーション：つづき / デザイン：是永、平山 / 企画・協力：TAMA映画フォーラム実行委員会